共に前へ

佐世保市立日宇中学校
学校だより　No. 29
発　行　日　R5.9.5
発　行　者　中野　一史

～昨日までの自分（自分達）を超える～

【重点目標】めざす生徒の姿
・学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む生徒
・日宇中ＰＲＩＤＥを自覚し、やるべきことに、我慢強く、最後まで取り組む生徒
・みんながリーダー・みんながフォロワーとしてより良い学校・学級づくりに取り組む生徒
・自らの進化・成長に向け、「いのち」を輝かせて諸活動に取り組む生徒

○日宇中ホームページアドレス
http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hiu/

学校評価より

保護者の皆様には、７月に実施しました「第１回学校評価アンケート」にご協力をいただくとともに、多くのご意見をいただきありがとうございました。遅くなりましたが、集計結果をお知らせいたします。

○生徒評価について

全２１項目の内、肯定値（「やや思う」「そう思う」の数値の合計に対する全体の割合）については、**肯定値８０％以上の高い項目が１３項目**ありました。また肯定値の低い項目については、今後の課題と言えます。

昨年度末の調査結果と比較し、**向上が見られた項目が１１項目、下降した項目が１０項目ありました。また肯定値の平均値は８１％で、昨年度末より0.7ポイント伸びているなど、上昇傾向である**と考えることができます。

【生徒評価：肯定値が高い項目ベスト５】

	項　　目	R５第１回（%）
1	私は、社会のルールやマナーを守っている	91.8
2	好ましい友人関係があり、楽しく登校している	90.4
2	先生たちは、子どもたちの間違った行動に対して、きちんと指導している	90.4
4	学校は、道徳や人権教育、平和教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている	90.2
5	学校は、生徒の将来の進路や生き方について考える機会を設けている	86.7

【生徒評価：肯定値が低い項目ワースト５】

	項　　目	R５第１回（%）
1	私は家庭学習の習慣が身に付いている	61.3
2	保護者は、授業参観や学校行事、PTA活動に積極的に参加している	69.1
3	私は、自分の良さを自覚し、それを伸ばそうと努力している	72.8
4	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている	75.1
5	学校は、地域の自然・人材・文化などを学習に取り入れている	75.3

【生徒評価：上昇した項目ベスト５】

	項　　目	R４第２回（%）	R５第１回（%）	上昇率（%）
1	私は、夢（目標）をもち、そこへ向けて努力している	73.7	81.6	＋7.9
1	私は部活動に積極的に参加している。また、運動の習慣がある	75.5	82.0	＋6.5
3	私は家庭学習の習慣が身に付いている	55.6	61.3	＋5.7
4	私は、自分の良さを自覚し、それを伸ばそうと努力している	69.7	72.8	＋3.1
5	学校は、地域の自然・人材・文化などを学習に取り入れている	72.4	75.3	＋2.9

【生徒評価：下降した項目ワースト３】

	項　　目	R４第２回（%）	R５第１回（%）	下降率（%）
1	先生たちは、わかりやすい授業を工夫し、基礎基本の定着を図っている	88.5	84.7	－3.8
2	学校は、生徒の将来の進路や生き方について考える機会を設けている	90.3	86.7	－3.6
3	学校は、道徳や人権教育、平和教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている	92.7	90.2	－2.5
3	学校は、学校の方針や生徒たちの様子を学校だよりやホームページ等で伝え、特色ある教育活動を行っている	87.6	85.1	－2.5
3	学校は、ふるさとを大切にする子どもを育てようとしている	84.3	81.8	－2.5

○保護者評価について

全２１項目の内、肯定値が８０％以上の項目が８項目ありました。また昨年度末の調査結果と比較し、**向上が見られた項目が１８項目、下降した項目が３項目でした。**肯定値の低い項目については、家庭での我が子の様子について「厳しい目」で評価をしていただいています。

【保護者評価：肯定値が高い項目ベスト５】

	項　　目	R4第１回（%）
1	子どもは、社会のルールやマナーを守っている	91.8
2	子どもは、好ましい友人関係があり、楽しく登校している	89.1
3	学校は、学校の方針や生徒たちの様子を学校だよりやホームページ等で伝え、特色ある教育活動を行っている	88.9
4	学校は、こどもの将来の進路や生き方について考える機会を設けている	88.2
5	学校は、子どもたちの間違った行動に対して、きちんと指導している	88.1

【保護者評価：肯定値が低い項目ワースト５】

	項　　目	R５第１回（%）
1	子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている	45.7
2	保護者はスマートフォンやゲーム等の使用についてルールを決めて守らせている	62.4
3	保護者は、授業参観や学校行事、PTA 活動に積極的に参加している	64.0
4	子どもは、夢や目標をもち、そこへ向けて努力している	64.8
5	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている	66.3

次に、課題を明らかにするために、「生徒評価と保護者評価との差」「生徒評価と教職員評価の差」が大きいものについて抜き出してみました。

【生徒評価と保護者評価との差が大きい項目】

	項　　目	R５生　徒（%）	R５保護者（%）	差（%）
1	家庭学習の習慣が身に付いている	61.3	47.3	14.0
2	保護者は、授業参観や学校行事、PTA 活動に積極的に参加している	69.1	55.1	14.0
3	保護者はスマートフォンやゲーム等の使用についてルールを決めて守らせている	78.1	64.4	13.7
4	子どもは、夢や目標をもち、そこへ向けて努力している	81.6	70.5	11.1
5	こどもは、「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」の習慣化ができている	77.9	69.5	8.4

【生徒評価と教師評価との差が大きい項目】

	項　　目	R５生　徒（%）	R５教職員（%）	差（%）
1	保護者はスマートフォンやゲーム等の使用についてルールを決めて守らせている	78.1	29.3	48.9
2	生徒は家庭学習の習慣が身に付いている	61.3	14.6	46.7
3	生徒は、社会のルールやマナーを守っている	91.8	63.4	28.4
4	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている	75.1	100.0	－24.9
5	先生たちは、わかりやすい授業を工夫し、基礎基本の定着を図っている	84.7	100.0	－15.3

保護者評価の肯定値が低い**「スマートフォンやゲーム等の使用における家庭のルール」「家庭学習の習慣化」**の項目については、生徒評価と保護者評価の差が大きく、また生徒評価と教師評価の差も大きい項目であるなど、課題だと言えます。

まず**「スマートフォンやゲーム等の使用における家庭のルール」**について考察すると、今年度、**生徒の「携帯電話・スマートフォンの所持率」は 89.0%と非常に高く、昨年度の所持率から 0.7%増加しています。各学年の所持率は、１年生：86.7%、２年生：90.1%、３年生：90.6%でした。**

また、**メディア利用時間については、「平日が２時間１０分」、「休日は４時間６分」であるなど、利用時間が多く、生活習慣や学習習慣への影響が少なからず出ている**ように思われます。１学期は、スマートフォンの持ち込みによる保護者召還、ＳＮＳのトラブル等で指導することが多くあり、**「家庭での管理」（学習時間・睡眠時間・学校に行くときは預かる）をお願いします。**

次に**「家庭学習の習慣化」**については、生徒評価・保護者評価でワースト１になっているように、学力向上に向けて改善しなければならない大きな課題です。**生徒評価「先生たちは、わかりやすい授業を工夫し、基礎・基本の定着を図っている」の肯定値は 84.7%であり、多くの生徒たちが「授業はわかりやすい」という実感**を持っています。しかしながら、その場で理解を示した**学習内容の「定着」が大きな課題**と言えます。１学期に実施した**家庭学習調査では、「平日の家庭学習時間は５７分（１年生：６０分、２年生：５６分、３年生：５４分）」、「休日の家庭学習時間は１時間１３分」という結果**でした。特に、**「０時間（やっていない）」という生徒が 11%**もおり、高校受験を考えると、大変心配しています。理解したことが結果につながっていくためにも**「家庭学習の習慣をつける」、「出された宿題に確実に取り組み、理解度・定着度を深める」**ことが求められます。

このことを踏まえ、各教科及び各学級で家庭学習の習慣化に向けて取り組みを進めているところです。また、先週より１週間（８月３０日～９月５日）、**「メディアコントロールチャレンジ」**を実施し、「ＳＮＳの利用時間の改善」「家庭学習の習慣化」への意識が少しでも高まるように取り組んでいます。特に家庭学習では、**「まずは、机に向かって３０分から」**を合言葉に頑張ってほしいと思います。ご家庭からも次の点について声かけ・励ましをお願いします。

○「家庭学習を始めるスタートの時間」を守る
○宿題＋自主学習（３０分～１時間）の実践
○メディア利用は、平日２時間以内、休日３時間以内にコントロールする。

今回の調査により、本校の現状（傾向）の一端を見ることができました。集計結果を踏まえ、課題改善に向けて教職員一丸となり、取り組んでいく所存です。また、学校として「家庭との密な連携」に向け、細やかな気づきの共有を図り、相互理解に努めていきたいと考えております。お子さんの変化や気になること等がありましたら、ご遠慮なくご相談いただきますようお願いします。

あわせて、ご家庭におかれましても、今回の結果等をもとに、学校の様子や家庭での過ごし方について話し合う機会を持っていただければ幸いです。